参加費無料
事前申込不要

第38回家族関係学セミナー
公開シンポジウム
地域社会における多世代共生の可能性
ー家族と住まいに焦点を当ててー

プログラム

1　松本 暢子氏（大妻女子大学社会情報学部教授）
家族の変容と住まいー少子高齢化による住宅需要の変化とまちづくりー

2　六角 薫氏（NPO法人セカンドリーグ神奈川事務局次長）
多世代共生のまちづくりの実践事例―成果と課題―

3　小澤 千穂子氏（大妻女子大学家政学部教授）
家族を超える「支え合い社会」のデザイン
―コミュニティにおける居場所づくりから始まるつながりの再構築―

コーディネーター／司会
井田 瑞江（関東学院大学社会学部准教授）
藤崎 宏子（元お茶の水女子大学）

現代の都市部における人びとの社会的孤立や家族の多様化の背景をふまえ、暮らしの基盤である住まいと地域に根差した多世代共生の可能性を探る。

10月13日(土) PM1：00～4：00
鎌倉女子大学大船キャンパス
当日は笠間口をご利用の上、サブゲートよりお越しください。

大船駅下車、東口または笠間口から徒歩8分

主催　（一社）日本家政学会 家族関係学部会

お問い合わせ（第38回家族関係学セミナー実行委員会事務局）
鎌倉女子大学 家政学部家政保健学科
大石美佳　m.oishi@kamakura-u.ac.jp